

四半期報告書

(第48期第2四半期)

自 平成23年7月1日

至 平成23年9月30日

株式会社 ケー・エフ・シー

大阪市北区西天満3丁目2番17号

(E02876)

目 次

	頁
表 紙	
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	2
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	3
1 株式等の状況	3
(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	3
(4) ライツプランの内容	3
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
2 その他	16
第二部 提出会社の保証会社等の情報	16

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年11月4日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社ケー・エフ・シー
【英訳名】	K F C, L t d.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村上 俊介
【本店の所在の場所】	大阪市北区西天満3丁目2番17号
【電話番号】	06（6363）4188
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 堀口 康郎
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区西天満3丁目2番17号
【電話番号】	06（6363）2689
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 堀口 康郎
【縦覧に供する場所】	株式会社ケー・エフ・シー東京本社 （東京都江東区青海2丁目4番32号 タイム24ビル） 株式会社ケー・エフ・シー横浜営業所 （横浜市都筑区大丸8番4号 都筑岩澤ビル） 株式会社大阪証券取引所 （大阪府中央区北浜1丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 4月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日
売上高（千円）	11,122,137	10,475,995	23,289,353
経常利益又は経常損失（△）（千円）	670,762	△23,841	1,087,485
四半期（当期）純利益又は四半期純損失 （△）（千円）	375,317	△48,791	535,812
四半期包括利益又は包括利益（千円）	308,096	△98,940	495,391
純資産額（千円）	6,465,595	6,442,904	6,652,416
総資産額（千円）	20,497,650	17,682,079	18,512,588
1株当たり四半期（当期）純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額（△）（円）	50.91	△6.62	72.68
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	31.5	36.4	35.9
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	△1,771,831	119,741	△2,426,099
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△54,955	△172,681	△206,738
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△244,045	△484,291	△700,661
現金及び現金同等物の四半期末（期末） 残高（千円）	3,353,391	1,553,492	2,090,724

回次	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成22年 7月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	22.67	0.30

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。

3. 第47期第2四半期連結累計期間及び第47期の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第48期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 第47期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響に対する持ち直しが徐々に見られるものの、電力供給の問題、円高の長期化、海外景気減速等、先行きの不透明感は払拭できておりません。また、当社関連業界においても、企業間の価格競争の激化により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期の連結業績につきましては、売上高は104億75百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。収益面につきましては、総コストの圧縮を引続き行ってまいりましたが、売上高の減少及び資材の高騰等による影響を受け、経常損失23百万円（前年同四半期は経常利益6億70百万円）、四半期純損失48百万円（前年同四半期は四半期純利益3億75百万円）となりました。

セグメントの売上高は以下のとおりであります。

〔商品販売事業〕

「あと施工アンカー」をはじめとする建設資材の販売が堅調に推移したものの当社グループの独自工法である「FIT工法」に係る土木資材の販売が伸び悩み、売上高は50億48百万円（前年同四半期比14.3%減）となりました。

〔建設工事業〕

当社が従来から取り組んでおります技術提案型営業が実を結び、プロジェクト工事等の受注に繋がったことにより、売上高は54億27百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

①営業利益、経常利益の状況

販売費及び一般管理費につきましては、20億49百万円（前年同四半期比0.5%減）となり、売上高の減少及び原材料費の高騰等による売上総利益の減少により、営業利益6百万円（前年同四半期比99.1%減）となりました。又、営業外損益につきましては有利子負債のより一層の圧縮に努めましたが、経常損失23百万円（前年同四半期は経常利益6億70百万円）となりました。

②四半期純利益の状況

特別損益につきましては、固定資産売却益を計上し、又、繰延税金資産の回収可能性を慎重かつ厳格に検討し、繰延税金資産を計上した結果、四半期純損失48百万円（前年同四半期は四半期純利益3億75百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億30百万円減少し、176億82百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。これは主として現金及び預金の減少によるものであります。

又、負債につきましては、主として1年内返済予定の長期借入金金の減少により、前連結会計年度末に比べ6億20百万円減少し112億39百万円（前年同四半期比19.9%減）となりました。

なお、純資産につきましては、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少し64億42百万円（前年同四半期比0.4%減）となり自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、15億53百万円（前年同四半期比53.7%減）となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動における資金は、税金等調整前四半期純損失23百万円、仕入債務の減少による2億92百万円の支出がありましたが、売上債権の減少による2億5百万円の収入、減価償却費1億5百万円があったことなどにより、1億19百万円の収入（前年同四半期は17億71百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動における資金は、有形固定資産の取得による支出が1億26百万円あったことなどにより、1億72百万円の支出（前年同四半期比214.2%増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動における資金は、金融機関に対する長期借入金の返済などにより、4億84百万円の支出（前年同四半期比98.4%増）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、36,565千円（前年同四半期比10.6%減）であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	18,970,000
計	18,970,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数（株） （平成23年9月30日）	提出日現在発行数（株） （平成23年11月4日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,378,050	同左	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数1,000株
計	7,378,050	同左	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	—	7,378,050	—	565,295	—	376,857

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
高田 信子	大阪府吹田市	784	10.63
積水樹脂株式会社	大阪市北区西天満2-4-4	777	10.53
高田 俊太	東京都目黒区	378	5.12
ケー・エフ・シー取引先持株会	大阪市北区西天満3-2-17 株式会社ケー・エフ・シー総務部内	351	4.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	325	4.40
吉田 隆興	大阪府吹田市	216	2.93
新井 嘉重	大阪府高槻市	211	2.86
ケー・エフ・シー従業員持株会	大阪市北区西天満3-2-17	207	2.82
電気化学工業株式会社	東京都中央区日本橋室町2-1-1	200	2.71
坂本 澄雄	大阪府箕面市	186	2.52
計	—	3,635	49.28

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,366,000	7,366	—
単元未満株式	普通株式 6,050	—	—
発行済株式総数	7,378,050	—	—
総株主の議決権	—	7,366	—

(注) 上記「単元未満株式数」には、当社保有の自己株式594株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ケー・エフ・シー	大阪市北区西天満3-2-17	6,000	—	6,000	0.08
計	—	6,000	—	6,000	0.08

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽ASG有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,090,724	1,553,492
受取手形及び完成工事未収入金等	7,076,226	6,888,068
未成工事支出金	304,721	387,397
商品	968,855	847,144
繰延税金資産	67,191	72,079
その他	588,204	*1 556,997
貸倒引当金	△21,561	△22,236
流動資産合計	11,074,362	10,282,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,599,997	1,581,268
機械装置及び運搬具（純額）	186,334	145,268
工具、器具及び備品（純額）	19,247	15,475
土地	4,088,258	4,088,258
リース資産（純額）	137,238	177,234
有形固定資産合計	6,031,075	6,007,504
無形固定資産		
その他	107,780	135,909
無形固定資産合計	107,780	135,909
投資その他の資産		
投資有価証券	818,617	733,919
繰延税金資産	45,447	80,238
その他	559,140	528,249
貸倒引当金	△138,834	△109,255
投資その他の資産合計	1,284,371	1,233,152
固定資産合計	7,423,226	7,376,566
繰延資産		
社債発行費	14,999	22,568
繰延資産合計	14,999	22,568
資産合計	18,512,588	17,682,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び工事未払金等	6,514,126	6,205,484
短期借入金	350,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,527,260	1,163,440
1年内償還予定の社債	170,000	250,000
未払法人税等	31,495	38,580
未成工事受入金及び前受金	72,909	89,860
その他	580,565	547,097
流動負債合計	9,246,356	8,544,462
固定負債		
社債	585,000	820,000
長期借入金	1,674,700	1,487,800
退職給付引当金	91,450	98,666
その他	262,664	288,246
固定負債合計	2,613,815	2,694,712
負債合計	11,860,172	11,239,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	565,295	565,295
資本剰余金	376,857	376,857
利益剰余金	5,647,404	5,488,041
自己株式	△3,926	△3,926
株主資本合計	6,585,630	6,426,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,473	16,636
繰延ヘッジ損益	△686	—
その他の包括利益累計額合計	66,786	16,636
純資産合計	6,652,416	6,442,904
負債純資産合計	18,512,588	17,682,079

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高		
商品売上高	5,951,683	5,262,063
完成工事高	5,170,453	5,213,932
売上高合計	11,122,137	10,475,995
売上原価		
商品売上原価	4,272,238	3,957,377
完成工事原価	4,108,583	4,462,554
売上原価合計	8,380,821	8,419,931
売上総利益		
商品売上総利益	1,679,445	1,304,686
完成工事総利益	1,061,870	751,377
売上総利益合計	2,741,315	2,056,064
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	※ 2,060,650	※ 2,049,808
営業利益	680,665	6,255
営業外収益		
受取利息	1,967	630
受取配当金	9,667	11,706
仕入割引	1,669	1,542
受取家賃	10,971	10,971
技術提供収入	14,778	420
その他	7,274	6,692
営業外収益合計	46,328	31,963
営業外費用		
支払利息	44,828	33,833
支払手数料	6,686	17,316
その他	4,716	10,910
営業外費用合計	56,231	62,060
経常利益又は経常損失(△)	670,762	△23,841
特別利益		
固定資産売却益	—	406
貸倒引当金戻入額	9,376	—
特別利益合計	9,376	406
特別損失		
固定資産除却損	467	68
商品補償損失	26,273	—
特別損失合計	26,741	68
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	653,397	△23,503
法人税、住民税及び事業税	299,696	31,574
法人税等調整額	△21,616	△6,287
法人税等合計	278,079	25,287
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	375,317	△48,791
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	375,317	△48,791

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	375,317	△48,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,018	△50,836
繰延ヘッジ損益	1,796	686
その他の包括利益合計	△67,221	△50,149
四半期包括利益	308,096	△98,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,096	△98,940
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	653,397	△23,503
減価償却費	76,215	105,095
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,932	7,215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,319	△28,904
受取利息及び受取配当金	△11,634	△12,336
支払利息	44,828	33,833
社債発行費償却	714	1,877
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△406
有形固定資産除却損	467	68
売上債権の増減額(△は増加)	1,697,694	205,728
未成工事受入金及び前受金の増減額(△は減少)	479,877	16,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△619,538	39,035
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,076,343	△292,165
未払消費税等の増減額(△は減少)	△165,812	61,819
その他	△119,982	51,771
小計	△1,063,500	166,079
利息及び配当金の受取額	11,648	12,335
利息の支払額	△44,649	△33,702
法人税等の支払額	△675,329	△24,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,771,831	119,741
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
定期預金の預入による支出	△100,000	—
有形固定資産の売却による収入	504	1,002
有形固定資産の取得による支出	△56,037	△126,598
無形固定資産の取得による支出	△2,547	△49,695
貸付けによる支出	—	△500
貸付金の回収による収入	3,125	3,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,955	△172,681
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△100,000
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△987,920	△950,720
社債の発行による収入	342,694	390,553
社債の償還による支出	△30,000	△85,000
リース債務の返済による支出	△21,301	△28,331
配当金の支払額	△147,518	△110,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,045	△484,291
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,070,832	△537,231
現金及び現金同等物の期首残高	5,424,224	2,090,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 3,353,391	* 1,553,492

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)に基づき、当第2四半期連結累計期間の貸倒引当金戻入額を販売費及び一般管理費の「貸倒引当金繰入額」の戻入として処理しておりますが、前第2四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)																																		
<p>2 偶発債務</p> <p>社債の債務履行引受契約に係る偶発債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(株)ケー・エフ・シー第12回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">60,000 千円</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第13回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">30,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第14回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">60,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第15回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第16回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">120,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第17回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">70,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第18回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">140,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第19回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">140,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">720,000</td> </tr> </table>	(株)ケー・エフ・シー第12回無担保社債	60,000 千円	(株)ケー・エフ・シー第13回無担保社債	30,000	(株)ケー・エフ・シー第14回無担保社債	60,000	(株)ケー・エフ・シー第15回無担保社債	100,000	(株)ケー・エフ・シー第16回無担保社債	120,000	(株)ケー・エフ・シー第17回無担保社債	70,000	(株)ケー・エフ・シー第18回無担保社債	140,000	(株)ケー・エフ・シー第19回無担保社債	140,000	合計	720,000	<p>※1 手形債権流動化</p> <p>手形債権の一部を譲渡し債権の流動化を行っております。</p> <p>受取手形の債権流動化による譲渡高 307,602千円 なお、受取手形の流動化に伴い、信用補完の目的により支払留保されている61,520千円は、流動資産の「その他」に含めて表示しております。</p> <p>2 偶発債務</p> <p>社債の債務履行引受契約に係る偶発債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(株)ケー・エフ・シー第13回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">20,000 千円</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第14回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">40,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第15回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">80,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第16回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第17回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">60,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第18回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">120,000</td> </tr> <tr> <td>(株)ケー・エフ・シー第19回無担保社債</td> <td style="text-align: right;">120,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">540,000</td> </tr> </table>	(株)ケー・エフ・シー第13回無担保社債	20,000 千円	(株)ケー・エフ・シー第14回無担保社債	40,000	(株)ケー・エフ・シー第15回無担保社債	80,000	(株)ケー・エフ・シー第16回無担保社債	100,000	(株)ケー・エフ・シー第17回無担保社債	60,000	(株)ケー・エフ・シー第18回無担保社債	120,000	(株)ケー・エフ・シー第19回無担保社債	120,000	合計	540,000
(株)ケー・エフ・シー第12回無担保社債	60,000 千円																																		
(株)ケー・エフ・シー第13回無担保社債	30,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第14回無担保社債	60,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第15回無担保社債	100,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第16回無担保社債	120,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第17回無担保社債	70,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第18回無担保社債	140,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第19回無担保社債	140,000																																		
合計	720,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第13回無担保社債	20,000 千円																																		
(株)ケー・エフ・シー第14回無担保社債	40,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第15回無担保社債	80,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第16回無担保社債	100,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第17回無担保社債	60,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第18回無担保社債	120,000																																		
(株)ケー・エフ・シー第19回無担保社債	120,000																																		
合計	540,000																																		

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)										
<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬及び給料手当</td> <td style="text-align: right;">865,580千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">100,203千円</td> </tr> </table>	役員報酬及び給料手当	865,580千円	退職給付費用	100,203千円	<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬及び給料手当</td> <td style="text-align: right;">899,022千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">106,023千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">△6,973千円</td> </tr> </table>	役員報酬及び給料手当	899,022千円	退職給付費用	106,023千円	貸倒引当金繰入額	△6,973千円
役員報酬及び給料手当	865,580千円										
退職給付費用	100,203千円										
役員報酬及び給料手当	899,022千円										
退職給付費用	106,023千円										
貸倒引当金繰入額	△6,973千円										

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)								
<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) (千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">3,353,391</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">3,353,391</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	3,353,391	現金及び現金同等物	3,353,391	<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) (千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,553,492</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">1,553,492</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,553,492	現金及び現金同等物	1,553,492
現金及び預金勘定	3,353,391								
現金及び現金同等物	3,353,391								
現金及び預金勘定	1,553,492								
現金及び現金同等物	1,553,492								

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	147,448	20	平成22年3月31日	平成22年6月21日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月17日 定時株主総会	普通株式	110,571	15	平成23年3月31日	平成23年6月20日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	商品販売	建設工事	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,888,365	5,233,771	11,122,137	11,122,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,888,365	5,233,771	11,122,137	11,122,137
セグメント利益	419,397	251,365	670,762	670,762

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	商品販売	建設工事	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,048,906	5,427,089	10,475,995	10,475,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,048,906	5,427,089	10,475,995	10,475,995
セグメント利益又は損失(△)	183,873	△207,714	△23,841	△23,841

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	50円91銭	△6円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	375,317	△48,791
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	375,317	△48,791
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,372	7,371

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月2日

株式会社ケー・エフ・シー

取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柳 承煥 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮内 威 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ケー・エフ・シーの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ケー・エフ・シー及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年11月4日
【会社名】	株式会社ケー・エフ・シー
【英訳名】	K F C, L t d.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村上 俊介
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	大阪市北区西天満3丁目2番17号
【縦覧に供する場所】	株式会社ケー・エフ・シー東京本社 (東京都江東区青海2丁目4番32号 タイム24ビル) 株式会社ケー・エフ・シー横浜営業所 (横浜市都筑区大丸8番4号 都筑岩澤ビル) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役村上俊介は、当社の第48期第2四半期（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

該当事項はありません。